

播州乾麺輸出拡大協議会

乾麺（そうめん、うどん、そば等）

基本情報

対象国 米、欧、東南アジア等

輸出額 4.6億円（全輸出額）

加盟者数 9社・1団体

主な販売先 小売・日本食店

活動地域 播州地方（兵庫県）

品目数 単一

希望スキーム 直接/間接輸出

備考 -

「播州ブランド」の確立、輸出拡大を目指し プロモーションや新規販路開拓を実施

「播州ブランド」の認知拡大に向けた多言語対応HP・SNS等の販促媒体の整備や、協議会参加企業各社事業者において新商品開発、海外市場でのテスト販売などの取組を実施。

団体概要

所在地 兵庫県姫路市

設立年 2021年

事業内容 海外向け「播州ブランド」の確立・
新商品開発・プロモーション等の実施
FSSC22000、ISO22000、HACCP（乾麺）
HALAL認証、Kosher認証取得（一部商品）

認証取得

生産規模 -



取組の経緯 / 概要

- ・国内消費縮小を背景に、日本の麺需要の高まる海外向けに「播州ブランド」を確立し、輸出拡大を行うため、産地事業者が一体となった協議会を2021年5月立ち上げ
- ・兵庫県乾麺協同組合の機械製乾麺輸出部会所属の9社と「揖保の糸」の兵庫県手延素麺協同組合の計10事業者で構成。乾麺協同組合が専任事務局を担い、会員は4部会のいずれかに所属（海外展示会・国内展示会・販促PR・テスト販売）
- ・月に1～2回、2時間以上の対面での定例会議を行うことで会員間の認識合わせ・議論を実施
- ・農林水産省の補助事業を活用し、多言語対応HPやSNS、パンフレット等での情報発信や、展示会・商談会への参加、海外市場でのテスト販売・サンプル配布による新規販路開拓を行う

取組の成果

- ・輸出額：176百万円（2020年度）→212百万円（2022年度12月末）
※ 輸出強化ターゲット7ヵ国向け
- ・HPアクセス数：約2.2万回（2022年度2月末）
- ・商談数：551件（2021年度）、約800件（2022年度、3月展示会見込数（334件）含む）
- ・新商品開発数：16件（2021年度）、22件（2022年度1月末）※ 個社によるもの

取組のポイント

協議会参加企業各社で新商品を開発し、協議会全体で展示会や商談会への参加、プロモーションを実施

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題
1

海外ニーズに合わせたマーケットインの発想に基づく新商品を検討する必要がある

TASK

課題
2

間接輸出による現地ニーズ把握に限界を感じており、直接輸出を視野に入りたい

TASK

課題
3

日本の乾麺はブランドとして確立されたものは少なく、海外の消費者には分かりにくい

輸出成功のポイント

新商品開発の共通テーマを設定し、情報共有

協議会で設定した4つのテーマを基に各社にて商品開発・販売。結果は協議会内で共有、活用

海外バイヤー向け食品展示会へ共同出展

共通のエリア・ターゲットを設定し、展示会への共同出展・商談会等を実施。2022年にはシンガポールでの展示会にも参加

多言語対応のHP・SNS等にて情報発信

協議会HPを日本語、英語、中国語で作成。2022年度にはベトナム語も追加。HPへの誘導促進の手段としてSNSを活用

サプライチェーン別取組

高品質で高付加価値な商品を開発

- 海外ニーズに合わせたパッケージ開発や、日本国産原料の使用等海外製造商品との差別化を図る

商品のテスト販売、サンプリングを実施

- 海外の輸入業者やディストリビューター等と連携し、商品のテスト販売やサンプリングを実施

乾麺を擬人化したオリジナルキャラクターを作成

- 海外の日本好きの人々に人気が高いアニメキャラクターをオリジナルで作成し、HPや販促グッズ、展示会での装飾やPR等に活用

商品選定・開発

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

今後も積極的に海外展示会へ出展すると同時に、現地で直に海外企業への営業アプローチを実施し、販売拡大につながるよう具体的に営業活動を行う。また、播州乾麺輸出促進イベント（海外市場セミナー＆地元輸出商社商談会）を開催する（※当協議会未参加の乾麺事業者へも参加を呼び掛ける予定）。加えて、各国・エリア毎、現地にマッチした調理メニューレシピの開発を実施する。